

第1回自然共生再生プロジェクト第1回ワークショッププログラム

日時：2006年2月9日10時～17時

場所：福島テルサ {あぶくま, あづま (展示, ポスター)}

10:00 開会

主催者挨拶：共生システム理工学類長 入戸野 修

10:05～10:30

虫明功臣：福島大における流域水循環共同研究の枠組み（全体構想の説明）

10:30～12:15

I 水循環系に係る諸問題の現象理解に関する研究—モニタリングとモデリングによる実態把握と将来予測

渡邊 明：面的雨量の精度向上化と雨水酸性物質の負荷量について

長橋 良隆：阿武隈川流域の地質と河床堆積物の鉱物組成・化学組成との関わりについて

難波謙二：河川の懸濁・着色物質及び河床付着物に関する研究

高安・猪俣・長谷部：河川水における有機汚染物質の調査

黒沢高秀：植物資料収集とデータベース化から見えてきた福島県内の水域生態系の変遷

木村勝彦：阿武隈川支流の河辺林の構造と洪水履歴

塘 忠顕：摺上川ダム建設後におけるダム周辺流域の底生動物相

12:15～13:30 ランチ（ポスター）

13:30～14:30

II 既存技術、施策の有効性の検証と新技術の開発研究

高貝慶隆：変異原性物質の微量計測法の開発と環境水への応用

杉森大助：油脂含有排水による水質汚染を防止するための微生物処理技術の開発

金澤等：廃棄繊維を利用した水中の有機化合物の除去

佐藤理夫：畜産廃棄物の資源化

14:30～15:00 ティータイム（ポスター）

15:00～16:00

III 流域の水、環境マネジメントの総合化に関する研究

柴崎直明：阿武隈川流域の地下水盆特性と地下水管理上の課題

木内 豪：阿武隈川流域における水循環・物質循環の定量化に向けた取り組み

虫明功臣：流域圏水循環マネジメントについての考察

16:00～17:00

IV. 総合討論（司会 渡邊 明）

—大学における地域と連携した研究のあり方—